

「五島をつなぐ～支庁の窓～」 No. 89 大島町

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島において、港湾・漁港・海岸・空港施設の整備や、管理業務を行っております。

今回は、皆さんも港でよく目にする消波ブロックについてご紹介します。

消波ブロックは、港や海岸に打ち寄せる波の力を弱めるために設置されるコンクリート製品です。ブロック同士のすき間に波が入り込むことで、波の勢いを分散・吸収し、防波堤や岸壁、港内の船舶を守る役割があります。また、台風や荒天時の高波による越波や施設への影響を軽減し、港を安全に利用できる環境づくりに役立っています。普段は何気なく目にする存在ですが、島の暮らしや物流を支える「縁の下の力持ち」といえる存在です。

消波ブロックは様々な形があり、40種類以上存在します。サイズも小型のもので数100kgから大型のものは80tを超えます。80tを超えるブロックは1個製作するのに、100万円以上します。波の力や海底面の勾配から、最も適したブロックを使用しています。元町港だけでも様々な種類のブロックが使用されているので、一度ご覧になって下さい。

大島支庁港湾課では、今後も皆さまに安心して港を利用していただけるよう、港湾施設の整備と適切な管理に努めてまいります。今後も、港湾空港事業へのご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。



消波ブロック（元町港）



制作した消波ブロック

「五島をつなぐ～支庁の窓～」 No. 89 利島村

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島において、港湾・漁港・海岸・空港施設の整備や、管理業務を行っております。

今回は、皆さんも港でよく目にする消波ブロックについてご紹介します。

消波ブロックは、港や海岸に打ち寄せる波の力を弱めるために設置されるコンクリート製品です。ブロック同士のすき間に波が入り込むことで、波の勢いを分散・吸収し、防波堤や岸壁、港内の船舶を守る役割があります。また、台風や荒天時の高波による越波や施設への影響を軽減し、港を安全に利用できる環境づくりに役立っています。普段は何気なく目にする存在ですが、島の暮らしや物流を支える「縁の下の力持ち」といえる存在です。

消波ブロックは様々な形があり、40 種類以上存在します。サイズも小型のもので数 100kg から大型のものは 80t を超えます。80t を超えるブロックは 1 個製作するのに、100 万円以上します。波の力や海底面の勾配から、最も適したブロックを使用しています。利島港でも様々な種類のブロックが使用されているので、一度ご覧になって下さい。

大島支庁港湾課では、今後も皆さまに安心して港を利用していただけるよう、港湾施設の整備と適切な管理に努めてまいります。今後も、港湾海岸事業へのご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。



消波ブロック（利島港）



制作した消波ブロック

「五島をつなぐ～支庁の窓～」 No. 89 新島村

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島において、港湾・漁港・海岸・空港施設の整備や、管理業務を行っております。

今回は、皆さんも港でよく目にする消波ブロックについてご紹介します。

消波ブロックは、港や海岸に打ち寄せる波の力を弱めるために設置されるコンクリート製品です。ブロック同士のすき間に波が入り込むことで、波の勢いを分散・吸収し、防波堤や岸壁、港内の船舶を守る役割があります。また、台風や荒天時の高波による越波や施設への影響を軽減し、港を安全に利用できる環境づくりに役立っています。普段は何気なく目にする存在ですが、島の暮らしや物流を支える「縁の下の力持ち」といえる存在です。

消波ブロックは様々な形があり、40種類以上存在します。サイズも小型のもので数100kgから大型のものは80tを超えます。80tを超えるブロックは1個製作するのに、100万円以上します。波の力や海底面の勾配から、最も適したブロックを使用しています。新島港だけでも様々な種類のブロックが使用されているので、一度ご覧になって下さい。

大島支庁港湾課では、今後も皆さまに安心して港を利用していただけるよう、港湾施設の整備と適切な管理に努めてまいります。今後も、港湾空港事業へのご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。



消波ブロック（新島港）



制作した消波ブロック

「五島をつなぐ～支庁の窓～」 No. 89 神津島村

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島において、港湾・漁港・海岸・空港施設の整備や、管理業務を行っております。

今回は、皆さんも港でよく目にする消波ブロックについてご紹介します。

消波ブロックは、港や海岸に打ち寄せる波の力を弱めるために設置されるコンクリート製品です。ブロック同士のすき間に波が入り込むことで、波の勢いを分散・吸収し、防波堤や岸壁、港内の船舶を守る役割があります。また、台風や荒天時の高波による越波や施設への影響を軽減し、港を安全に利用できる環境づくりに役立っています。普段は何気なく目にする存在ですが、島の暮らしや物流を支える「縁の下の力持ち」といえる存在です。

消波ブロックは様々な形があり、40種類以上存在します。サイズも小型のもので数100kgから大型のものは80tを超えます。80tを超えるブロックは1個製作するのに、100万円以上します。波の力や海底面の勾配から、最も適したブロックを使用しています。神津島港だけでも様々な種類のブロックが使用されているので、一度ご覧になって下さい。

大島支庁港湾課では、今後も皆さまに安心して港を利用していただけるよう、港湾施設の整備と適切な管理に努めてまいります。今後も、港湾空港事業へのご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。



消波ブロック（神津島港）



制作した消波ブロック